

「恋人の聖地」に

敦賀市の北陸自動車道杉津パーキングエリア（PA）が、魅力ある若者たちの出会い・交流の場として全国の観光施設をピックアップする「恋人の聖地」に選ばれた。

静岡のNPO認定

NPO法人（静岡市）が認定したもので、本県では三方五湖を眺望するレインボーライン山頂公園に続いて二件目。春には銘板除幕などの記念セレモニーが行われる。



景観、「愛の鍵」ロマンチック

県内2件目 春に記念セレモニー

二十二日に名古屋市中で行われた中日本高速道路の矢野弘典会長の定例記者会見で発表された。

「恋人の聖地」は、静岡市のNPO法人地域活性化支援センターが選定している。結婚につながるカップルを応援し、少子化対策と地域活性化を目的に、二〇〇六年から実施している。ファッションデザイナーの桂由美さんや華道家の假屋崎省吾さん、女優の菊川怜さんが審査員となり、これまでに全国各地の七十四カ所を選んでいる。

選定地は、東京の六本木ヒルズ展望台やお台場のヴィーナズフォートなど都会の集客施設をはじめ、地方の高原やドライブウェイ、遊歩道、遊園地、温泉、美術館などさまざま。レインボーライン山頂公園は〇六年六月

に認定を受けた。

杉津PAは、昨年十二月の第十二回選定委員会で、他の八カ所とともに選ばれた。敦賀湾や敦賀半島が一望できる景勝地で、下り線には「ゆうひのアトリエ」と名付けられた展望台や、カップルが願いを込めて鍵を取り付ける「愛のハートロックコーナー」などがある。ロマンチックなデートスポットとなっていることから認められた。

同センターは「認定は活動の始まりととらえてほしい。より魅力ある場所づくりのほか観光情報発信、イベント展開な

どを積極的に進め、地域の活性化に役立ってほしい」と話している。

管理する中日本高速道路敦賀保全・サービスセンターでは、銘板をモニュメント風にして設置し、今春に記念イベントを開く計画。「敦賀市のPR活動などにもさらに力を入れたい」としている。

「恋人の聖地」に選定された杉津PAの展望台 敦賀市杉津